

ミレニアム開発目標達成にむけた日本の ODA の役割 について考える議員フォーラム

- 本邦初ユネスコ「万人のための教育報告書」発表会 -

1. 趣旨・目的

教育分野の国際協力 NGO28 団体で構成する「教育協力 NGO ネットワーク」ならびに「ほっとけない世界の貧しさ」は、教育分野のミレニアム開発目標達成における日本の ODA の役割について考え、議論することを目的に議員フォーラムを開催します。

世界では 8000 万の子どもが学校に入学したことがなく、さらに小学校に入学した子どものうち 1 億 5000 万の子どもが小学校を中途退学しています。その結果、読み書きのできない成人は、世界で 7 億 8000 万人を数えています。

2015 年までに無償で質の高い教育をすべての子どもに保障すること、2005 年までに初等・中等教育における男女格差を解消することは、国連ミレニアム開発目標にも含まれている国際的な約束です。しかしながら、2005 年までの初等・中等教育における男女格差の解消という目標は、すでに 80 カ国で達成できませんでした。また、2015 年までの初等教育の完全普及という目標は、現状の傾向が続けば、世界人口の 3 分の 1 の国々にあたる 47 カ国で達成できないと予測されています。

ユネスコ（国連教育科学文化機関）は「万人のための教育報告書」（Education for All Global Monitoring Report）を 2001 年以降、毎年発表し、教育分野のミレニアム開発目標の達成度の進捗状況、必要な政策を国際社会に発信しています。この「万人のための教育報告書」の発表会はこれまで一度も日本で開かれたことがありません。

そこでこのたび、「万人のための教育報告書」の日本で初めての発表を行い、教育分野ミレニアム開発目標達成における日本の ODA の役割について考えるための議員フォーラムを開催いたします。

この発表会にはユネスコパリ本部から「万人のための教育報告書」編集主幹である Nicolas Burnett さん、教育分野ミレニアム開発目標達成のための世界レベルの市民社会組織である Global Campaign for Education(GCE)の Lucia Fry さんを招聘し、ご発表いただきます。

2. 主催

教育協力 NGO ネットワーク、ほっとけない世界のまずしさ

3. 協力

ユニセフ議員連盟（予定）、外務省、文部科学省（予定）

4. 対象

国会議員、マスメディア、教育協力に関心のある市民

5. 日時・会場

平成 19 年 2 月 8 日（木） 15:00 ~ 16:15

衆議院第一議員会館第一会議室

6. プログラム

司会：山内康一衆議院議員

教育分野ミレニアム開発目標についてのビデオ（国連ミレニアムキャンペーン制作）

発表（同時通訳付き）

- ユネスコ「万人のための教育報告書」編集主幹 Nicolas Burnett さん
 - Global Campaign for Education(GCE) アジア地域代表 Lucia Fry さん
- コメント 呼びかけ人議員代表
外務省 広報文化交流部 国際文化協力室長 齊藤 純
教育協力 NGO ネットワーク代表 片山信彦

自由討論

7. 定員：会場の制約から先着 40 名までとさせていただきます。

8. 入館方法：衆議院第一議員会館の入館にあたっては、受付で入場証をお渡しします。

9. 申し込み方法

下記フォームにて、2月2日(金)までにjnne@sva.or.jp までご連絡ください。定員を超え、ご参加いただけない場合のみ当方よりご連絡します。

2月8日議員会館での発表会に参加します

名前：

団体名：

メール：